

第4回奄美市保育人材確保に向けた官民連携円卓会議概要

開催日時:令和6年12月4日(水)14:00~16:05

会場:奄美市アマホーム PLAZA 大多目的室

出席委員:別紙のとおり

傍聴者数:1名

協議に先立ち報告

1. 鹿児島県主催の「保育士就職フェア」参加について、事務局から報告(11/23 開催)
2. 名瀬地区保育連合会主催の保育まつりについて、吉山副座長から報告(11/23 開催)

会次第(別添)

1. 提言案説明にあたり、提言の考え方の土台となる奄美市の総合計画「奄美市における未来づくり計画」の概要について事務局から説明。引き続き「保育人材確保に向けた官民連携協同提言(案)」の総論について事務局から説明。

●提言の全体像(大枠、構成)については現案の内容とすることを全会一致で確認しました。

2. 提言案の各論について事務局から説明。

●以下主な発言要旨

- ・保育士は魅力のあるすごい仕事です。提言を読んだ保育士が「保育士」という仕事に就いていることを誇れるような内容にしたい。
- ・保育士を「人財」子どもを「宝」とする表現は大変嬉しい。
- ・連携して対策を進めていく中において、養成校や療育施設との連携も欠かせないのではないかと感じている。
- ・保育士は子どもだけではなく、保護者についても日々考えているため、4年後のありたい姿については、保護者についても盛り込んでほしい。
- ・保育が持たれているイメージについてアップデートする必要があるのであれば、もう少し分かりやすい表現を検討してほしい。
- ・保育の質が求められると表現されると、もしかすると保育士の中には「今でも頑張っているのに」と感じるところがあるのではないかと感じている。うまく表現していただきたい。
- ・保育を整える形として、こどもへの保障についても広く記載していただきたい。
- ・今のイメージは一部よくないところもあるかもしれないが、かつて保育は光り輝いていた。やりがいもある、使命感も誇りもある仕事です。子どもに対する仕事は変わっていないと感じている。
- ・リモートを含めもっと頻繁に互いに関わる等、保育と療育とが近い関係になることが望ましい。

3. 保育士という仕事に携わり一番嬉しかったエピソードについて各委員が発表しました。

第5回に向けて

- ・「集中対策の推進にあたって」の項目を追加し、主体である保育施設・行政が養成校や療育等の他分野との連携・協力について、提言案に盛り込むこととしました。
- ・委員意見を反映させた提言案について、保育士から広く意見を聞くために、保育関係者に対するパブリックコメントを実施し、提言案に盛り込んだ上で、最終とりまとめに向かうことを確認しました。
- ・最終となる第5回円卓会議は12月末の開催を予定し、散会としました。